

障がいのある方が 安心して生活できる 地域をめざして

～障害者虐待防止法施行～

機能などに障がいのある方
知的障がい者

主に先天的また出生のとき
などに脳が障がいを受けて知
的な発達が遅れのある方

精神障がい者

主に統合失調症、うつ病、
自閉症などの病気や脳機能の
障がいがある方

その他

心身の障害や社会的な障壁
によって、生活のしづらさの
ある方

障がい者虐待の種類

障害者虐待防止法では、虐
待を次の3つに分けています。

(1) 養護者による虐待

生活のお世話や金銭の管理
などを行っている家族や親族、
同居の方による虐待のことです。

(2) 施設従事者等による虐待
福祉施設や福祉サービスの
事業所で働いている職員によ
る虐待のことです。

(3) 使用者による虐待

障がい者を雇っている事業
主などによる虐待のことです。

どのようなことが 虐待となるか

障がい者虐待の例としては、
次のようなものがあります。
また、これらが重なっている
場合もあります。

○身体的虐待

身体に傷や痛みを負わせる
暴行を加えること。または、
正当な理由もなく、身動きが
とれない状態にすること。

○性的虐待

無理やりわいせつなことを
したり、させたりすること。

○心理的虐待

侮辱するなど精神的な苦痛
を与えること。

○ネグレクト(放棄・放任)

食事や入浴、排せつなどの
世話や介助をほとんどせず、
心身を衰弱させること。

○経済的虐待

本人の同意なしに財産や年
金、賃金などを使うこと。ま
たは、本人に理由なく金銭を
与えないこと。

「虐待をされる人」 「虐待をしてしまう人」 の両方を救うために



見するためには、小さなサイ
ンを見逃さないことがたいせ
つです。

虐待を見つけたら ひとりで抱え込まないで

障がい者が家族や施設など
の職員、会社の事業主などに
虐待されていることに気付い
た場合は、障害者虐待防止セ
ンターが福祉課に設置されて
いますので、ひとりで抱え込
まずに相談又は通報してくだ
さい。

虐待への支援は、医療機関
や福祉施設等の職員、行政、
地域住民などさまざまな人や
関係機関が地域ぐるみで対応
していく必要があります。適
切な対応をとることは、虐待
されている人だけでなく、虐
待している家族などが抱える
生活のしづらさや問題の解決
にもつながります。

問 福祉課 ☎ 84-0316



子育てひろポイント 102

Q 子どもが言いたいことを聞かなくて困っています。
どう接すれば良いでしょうか。

A 子どもの成長とともに、
母親は我が子に良い習慣や正
しいルールなどを守らせたい
と考えます。でも、なぜか
がんばれば、がんばるほど困
った行動を繰り返され「何で
きかないの」「ダメな子ね」と
つい感情的にしかってしま
いますよね。こうしたしかり方は、
お母さんに愛されていないと
感じ、自信をなくしてしま
い逆効果です。

まず、お母さん自身がスト
レスを発散させて落ち着くこ
とがたいせつです。そして、
指示を出すときは、子どもに
目線を合わせ顔を見て話しま
しょう。

指示は「片付けなさい」か
ら「おもちゃ箱に入れようね」
と子どもにわかりやすい言葉
に言い変えてみてください。
また、「次は何をするんだっ
た？」と確認してみるのも良
いでしょう。忘れていること



問 開成町立開成幼稚園

☎ 82-4247

のびのび子育てルーム

☎ 83-4198

今 年四月に育児休業から復
帰させていただきました。

休業中には、親となって初めて
の子育てから学ぶことも多く、
また、地域の子どもたちを一町
民の立場で目にする場面も多
かったため、いろいろな面から
教育について考える機会を得ま
した。そしてそこから、子ども
は地域の財産であること、また
効果的な教育活動を行うために、
学校・家庭・地域さらには行政
が協力して取り組んでいくこと
のたいせつさというものを改め
て感じました。

今 年度、文命中としては初
めての試みですが、町の

保険健康課との連携を図りなが
ら、生徒の健康づくりに取り組
んでいます。

一 学期には、保険健康課と

生徒会保健委員会とが協
力して、希望する生徒と保護者
を対象に「骨密度測定会」を実
施しました。参加者は骨密度の
測定後、保健師さんからの個別
の保健指導で、自分の現在の骨
の状態を知ったり、今後の食生
活・運動習慣へのアドバイスを
いただいたりしました。

当 日まで生徒会保健委員会
が呼びかけ活動をしてく

れたこともあって、予定を上回
る105名の方に参加してい
ただくことができました。

ま たそれにつながる活動と
して、二学期には「学校
保健委員会」を開催し、保健師
さんを講師に招いて文命中学校
生徒の健康な体づくりに関して
さらに考えを深められるような

生 生 しポート 今

子どもたちは

【保健室から始める町との連携】

やまおか ひとみ

文命中学校 養護教諭

機会を持つ予定です。

三 年間の中学校生活を通し
て生徒たちには「自分の
体を知り、守る力」を身につけ
ていってほしいと思っています。
健康な体を守るためには自分の
体をよく知ること、関心を持つ
ことが基本です。そして、食や
睡眠といった基本的生活習慣を
整える必要性を知識として習得
するだけでなく、実践してい



骨密度測定の様子

今 年度の活動を足がかりに、
町との連携をさらに深め、
開かれた学校づくりの活動を一
層推進していけたらと考えてい
ます。

そ のような意味でも今回の
連携事業を通して、学校
と保険健康課という立場の違
い機関がお互いの特長を生かして
活動することでメリットを感じ
る場面が多くありました。